



学校運営協議会だより③



「すべては子どもたちのために」

～チーム Tokuriki からオール Tokuriki へ～

1 第3回目の学校運営協議会を開催しました

2月13日(月)に第3回学校運営協議会を開催しました。今回は、令和5年度のまとめとして「全国学力・学習状況調査の結果」(下記参照)「令和5年度学校評価等について」(3月学校だより掲載)「学校自己評価システムノート」(学校HP公開予定)について報告、意見交換を行いました。

【全国学力・学習状況調査】

○国語、算数、理科の3教科で実施・・・3教科すべて全国等の平均を下回っている。

◇基礎学力向上が課題である。

○児童生徒質問紙の結果では、「学校に行くのは楽しいか」「先生はあなたのよいところを褒めてくれるか」「人の役に立つ人間になりたいか」の質問に肯定的な回答をした児童が100%で、令和4年度よりもポイントが上がった。

◇基礎学力向上の素地となる人間関係は非常に良好である。

また、「令和6年度学校経営方針」の仮承認を得たり「令和6年度学校行事予定」について確認していただいたりしました。今年度の取組の成果と課題をまとめ、次年度以降のコミュニティ・スクールの充実を図っていきたいと思います。

2 活動実践

学校運営協議会で熟議を行い、設定された2つの課題に対しての取組を報告します。

(1) あいさつ運動

本校児童だけでなく、小中一貫教育の取組の一つとして中学生と合同であいさつ運動を実施しました。また、コミュニティ・スクールの取組として、岩槻北陵高校の生徒やPTAも交え、さらに保護者・地域の方にも協力いただきあいさつ運動を行いました。

(2) 岩槻北陵高校生徒との取組

あいさつ運動だけでなく、クラブ活動にも参加してもらい、小学生と一緒に活動をした。



(3) 地域の人材活用

保護者・地域のお力を得て、5・6年生の家庭科でのミシンの授業のボランティアをお願いしました。3年生の社会科では、昔の道具の使い方を地域の方にも教えていただきました。



3 成果と課題

【成果】○熟議を行った学校・家庭・地域に共通した課題を明確にでき、本協議会だよりを通じて広く周知することができた。

○関係機関と連携し、あいさつ運動や教育活動により具体的な取組へとつなげることができた。

【課題】●関係諸機関を含めた組織を構築し、地域の活性化やより具体的な活動、継続可能な取組へとつなげていけるようにしていくこと。

●児童の声や保護者の声を吸い上げ、教育活動をさらによりよくするシステム作りを行っていくこと。